

令和3年度事業報告

事業概要

当協会は、手足の不自由な子どもたちの豊かな生活を実現するため、公益目的事業として肢体不自由児の支援事業と肢体不自由児理解促進事業を行った。

支援事業としては、自立活動支援事業、地域活動支援事業、器具貸与事業により肢体不自由児の自立と社会参加を促す支援を行った。肢体不自由児理解促進事業では募金事業、ボランティア育成事業、交流事業、調査及び情報提供事業により、障がいのある人もない人もともに支えあいながら暮らせるよう障がい者への理解を求めた。

1 法人の運営

(1) 理事会の開催

- ア 第1回（通常）理事会 書面表決にて開催
- 期 日 令和3年5月19日（水）
- 議 事 第1号議案 令和2年度事業報告（案）の承認について
第2号議案 令和2年度決算（案）の承認について
第3号議案 令和3年度定時評議員会決議の省略による
評議員会の開催について
- イ 第2回（臨時）理事会
- 期 日 令和3年6月10日（木）
- 場 所 千葉県社会福祉センター 4F会議室
- 議 事 第1号議案 理事長・業務執行理事の選出と承認について
- 報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- ウ 第3回（通常）理事会
- 期 日 令和4年3月4日（金）
- 場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室
- 議 事 第1号議案 基本財産の取り崩し（案）について
第2号議案 令和4年度事業計画(案)について
第3号議案 令和4年度予算(案)について
第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
第5号議案 臨時評議員会開催の日程について
- 報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会の開催

ア 定時評議員会 書面表決にて開催

期 日 令和3年6月10日(木)

議 事 第1号議案 令和2年度事業報告(案)の承認について

第2号議案 令和2年度決算(案)の承認について

第3号議案 役員を選任について

第4号議案 評議員の退任の承認について

報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の職務執行の状況について

イ 臨時評議員会 書面表決にて開催

期 日 令和3年10月1日(金)

議 事 第1号議案 評議員の選任の承認について

第2号議案 評議員会会長の選任の承認について

報告事項 第1号 理事長および職務執行理事の職務執行の状況について

ウ 臨時評議員会

期 日 令和4年3月23日(水)

場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室

議 事 第1号議案 基本財産の取り崩し(案)について

第2号議案 令和4年度事業計画(案)について

第3号議案 令和4年度予算(案)について

第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の職務執行状況について

(3) 決算監査会の実施

期 日 令和3年4月28日(水)

場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室

監査人 監事 長谷川 正克 米山 和喜

協会 横川事務局長 石井顧問税理士

1 自立活動支援事業

① 障がい児・者へのコミュニケーション支援研修会

重症心身障がい児者の意思決定や疎通を図るため、障がい者・保護者・保育士・施設職員等を対象にした研修会を開催した。

期 日 令和3年8月1日(日)延期 令和4年2月20日(日)実施

場 所 千葉県社会福祉センター 3F 会議室

講 師 2名

下川和洋氏 (NPO 法人地域ケアさぼーと研究所理事)

「支援者として当事者が抱えている困難感の理解を演習」

高橋宜盟氏 (一般社団法人 結ライフケアさぼーと研究所理事)

「はじめての ICT」

参加者 20名

② 療育キャンプの実施

日頃、野外活動を楽しむ機会の少ない肢体不自由児者が家族と離れて宿泊し、室内でのレクリエーション等の活動を通して自主性と社会性を高め、参加者同士の交流を深めた。また、2日目は鴨川シーワールドにてショーやランチを楽しんだ。

期 日 令和3年10月9日(土)～10月10日(日)

宿泊地 「ホテルポートプラザ千葉」

参加者 1日目 障がい者 6名 ボランティア 5名 職員2名 宿泊10名

2日目 障がい者 9名 保護者付添2名 ヘルパー1名

ボランティア 6名 職員2名

計 20名

③ 肢体不自由高校奨学金

県内に住む肢体不自由で高校在籍者4校6名に対し1人2万円の交付を行った。

申請者数7名

- ・ 千葉県立松戸特別支援学校 3名
- ・ 敬愛大学八日市場高等学校 1名
- ・ 千葉県立千葉商業高等学校 1名
- ・ 千葉県立幕張総合高等学校 1名

2 社会参加活動支援事業

① 親子の旅の実施

日頃、旅行する機会の少ない在宅肢体不自由児者とその保護者を対象に日帰りのバス旅行を1回、現地集合での企画を3回実施した。

期 日 令和3年10月31日(日)
見学等 銚子ポートタワー ウオッセ 21 見学
参加者 障がい者9名 付添5名 ヘルパー1名 ボランティア5名 職員2名
計22名

期 日 令和3年7月11日(日)
見学等 千葉みなとにあるK'sハーバー PIEL-01
参加者 障がい者3名 付添4名 ボランティア1名 職員1名 計9名

期 日 令和3年8月27日(日)
見学等 千葉みなとにあるK'sハーバー PIEL-01
参加者 障がい者3名 付添3名 ボランティア1名 職員1名
計8名

期 日 令和3年12月15日(水)
見学等 千葉みなとにあるK'sハーバー PIEL-01
参加者 障がい者2名 付添い1名 職員 2名 計5名

3 療育相談事業

肢体不自由児の保護者、又 障がい者本人からの療育についての相談事業を行った。年間を通じて個別の面談相談7件、電話・メールにての相談135件。

又、リモートによる個別の療育相談を開催した。リモートでの相談11件。

4 車椅子・訓練器具の無償貸与事業

① 車椅子貸与

肢体不自由児の生活範囲を広げ、より活発に社会参加の機会を拡大するため申請のあった 13名 に車いす 13 台を貸与した。なお電話による相談が 66 件あった。

② 緊急車いす貸与

健常な方で急なケガや病気などで一時的に車いすが必要となった 15名 に対し車いすを 3 ヶ月を上限に貸与した。なお、利用者は市役所、市社会福祉協議会からの紹介の方が半数以上だった。

③ 訓練機器の貸与

肢体不自由児が、障がいの程度に応じて家庭において訓練ができるよう、医師の判定を受けた新規申請者 28 名、前年度からの継続貸与者 50 名、計 78名 に訓練器具を貸与した。なお、電話による相談が 97 件あった。

年齢別貸出人数（新規）

種 類 別 貸 出 台 数

年 齢 別	人数	器 具 種 別	台数	器 具 種 別	台 数
1～3歳	12	オルソチェア	2	P C ウォーカー	25
4～6歳	9	わくわくいす	1	U型歩行器	1
7～12歳	6	フロアーシート	2	ポニーウォーカー	2
13歳～	1	クッションチェア	9	S R C ウォーカー	36
合 計	28			合計	78

新規申請者主な通院医療関係機関

千葉リハビリテーション	14名
門田整形外科	2名
東京女子医大八千代医療センター	2名
県立子ども病院	1名
順天堂大学医学部附属浦安病院	1名
船橋二和病院	1名
その他	7名

新規申請者主な市町村

千葉市	4件
市川市	3件
柏市	2件
船橋市	3件
木更津市	3件
印西市	1件
佐倉市	2件
山武市	2件
印旛郡	1件
その他	7件

5 肢体不自由児に対する理解促進及情報提供事業

① 絵はがき等頒布運動事業

「手足の不自由な子どもを育てる運動」期間を中心に、「愛と友情の絵はがき」（日肢協作成）、チーバくんクリアファイル、チーバくんシール・チーバくんメモ帳（当協会作成）を活用して募金活動を行った。全県下の小中学校、盲聾特別支援学校の児童生徒・職員、官公庁・団体・企業等に広く働きかけ、肢体不自由児に対する理解と認識を深めた。

又、今年度も群馬県・新潟県、各肢体不自由児協会とコラボし、各県のキャラクターファイルのセット配布も行った。

募金協力数（絵はがき・クリアファイル・シール）

令和3年3月31日現在

対象	絵はがき	クリアファイル	クリアファイル メモ帳セット	クリアファイル シール・メモ帳セット	クリアファイル 4枚セット	お楽しみセット
小中学校	3,071組	11,392枚	10,293セット	7,777セット	2セット	－
一般	664組	2,777枚	1,449セット	676セット	1,445セット	577セット
合計	3,735組	13,669枚	11,742セット	8,453セット	1,447セット	577セット

② 手をつなぐ作品展

県内小中高等学校と特別支援学校、盲聾学校の児童生徒が、作品を通じて相互理解を深めることを目的として、作文を募集したところ、作文162点の応募があった。審査会を経て優秀作品を選考し、作品集を作成した。表彰式を行い賞状と記念品を贈呈した。

又、作品集を県内全学校に配布した。

③ 広報活動

協会の機関紙として、「ともしび」を年3回（5月、9月、2月）発行し、関係機関等に配布することにより協会の事業内容をPRするとともに、肢体不自由児に対する理解を深めることに努めた。（各2,600部配布）

④ ホームページによる情報提供

協会の事業、催しの案内、募集、その報告、訓練器具などの在庫状況などいつでも必要な情報を更新した。

6 バリアフリー情報提供事業

県内の観光施設・公共施設・娯楽施設などのバリアフリー度を調査し、ホームページで紹介する。これにより、県民の方々にも障がい者への理解を深めてもらう。現在紹介店舗・施設数 124店

7 障害者就労意欲向上支援事業

① ふれあいサロン（就労意欲向上支援事業）

年 11 回、第 3 日曜日の午前 10 時～15 時に、特別支援学校高等部卒業生を中心に障がい者の就職や生活相談などに関する悩みを傾聴したり、就労意欲を高めてもらうため、アドバイザーが個別のカウセリングやグループディスカッションを行った。参加者（延べ人数）障がい者 64 名、うちリモートでの参加 12 名 アドバイザー 37 名

② 職場体験実習生受け入れ事業

一般就労の事務職の現場を体験実習するため協会事務所にて職場体験実習生の受け入れを行った。これにより、自己能力の再確認や社会参加の足がかりとなるよう、特別支援学校高等部の生徒の面談と指導を行った。

実習生

- ・ 特別支援卒業生 1 名 5 か月にわたり 44 日間の実習。
- ・ 県立桜が丘特別支援学校 高等部 1 年生 1 名（実習期間 4 日間）

8 肢体不自由児に対するボランティアを育成する事業

県内の肢体不自由児者の社会参加と自立を支援するため、協会行事への参加や他の団体が主催する催しへの派遣を行った

- ① ボランティアの育成と資質向上を目的に、車いす介助の研修を随時行った。
- ② 協会主催の障がい児・者へのコミュニケーション支援研修会への参加を募った。
- ③ 本会で実施する各種行事や関係施設行事にボランティア延べ 31 名が参加し、介助支援等を行った。
- ④ 「手足の不自由な子どもを育てる運動」のクリアファイルの梱包作業への協力を仰いだ

・ 令和 3 年度	ボランティアの会	登録者数		
	社会人	男	7 名	女 7 名
	学生			女 2 名
			合計	16 名

※ 淑徳大学のボランティアサークルが新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアを自粛しているため学生の登録者数が減った

9 地域や関連団体への催し参加

ガールスカウト千葉市協議会主催の親睦バザーに参加(10 月)

普段在宅で求職中の障がいを持つ 1 名がバザーへの出店を行い自ら作成したコースターなどを販売し、働くことへの意欲を得た。

10 その他

① 高額寄付 5 団体への感謝状贈呈

高額寄付団体に感謝状の贈呈を行い肢体不自由児の理解促進に努めた。